

令和5年 ブリ 漁況の見通し

＜今漁期（10月～翌年3月）の富山県におけるブリ漁獲量＞

3歳以上のブリ（体重7kg以上）は、平年（平成25年～令和4年の平均漁獲量：132トン）をやや上回ると予想される。

2歳のブリ（体重4kg前後）は、平年（平成25年～令和4年の平均漁獲量：43トン）をかなり下回ると予想される。

令和5年ブリ漁況の見通しをとりまとめました。詳細については別紙をご覧ください。

令和5年度のブリ漁況の見通し

＜今漁期(10月～翌年3月)の富山県におけるブリ漁獲量＞

3歳以上のブリ(体重7kg以上)は、平年(132トン)をやや上回ると予想される。

2歳のブリ(体重4kg前後)は、平年(43トン)をかなり下回ると予想される。

「根拠となった情報」

① ブリの資源レベル

- ・日本海において、今シーズン「ブリ銘柄」として漁獲対象となる魚のうち、2021年産まれ(2歳魚(4kg前後)、2020年産まれ(3歳魚(7kg前後)および2019年産まれ(4歳魚(9kg前後))はいずれも低い水準と考えられる。
- ・3歳以上のブリについて、北上期のブリ漁獲量(新潟県、秋田県における北上期(4～8月)の定置網によるブリ漁獲量)を基に計算すると、日本海における主要な漁獲県である新潟、富山、石川の3県における今漁期の定置網の合計漁獲量は993トン(過去10年平均比120%)と予想された。
- ・2歳のブリについて、0歳時点(2021年4月～翌年6月)での、富山湾から青森県における定置網による漁獲尾数は過去10年平均比45%であり、平年をかなり下回った。

② 漁獲量と周辺海域の水温との分析結果

・3歳以上のブリ

3歳以上のブリ漁獲量は、日本海の12月上旬の水深100m水温において、山形沖の水温が高く、能登半島沖の水温が低くなり、その水温差が大きくなるほど、富山湾の漁獲配分割合※が高く、多く漁獲される傾向にある。日本周辺の水温等の海況を予測するシステム(FRA-ROMSⅡ)によると、2023年12月上旬の同海域の水温差は2.84℃(平年値4.16℃)と予測されている。このことから、富山湾の漁獲配分割合は55%(平年値62%)と計算され、水温環境からみて富山湾へは平年よりやや来遊しにくいと考えられた。また、富山湾内における富山県への配分割合は過去10年平均で26%であった。

※(富山+石川)/(富山+石川+新潟)で計算される定置網漁業の漁獲量の配分割合

・2歳のブリ

2歳のブリについては、漁獲量が大きく変動し、資源量の変動だけでは説明できない要因が考えられること、また水温環境の影響も明らかになっていないことなどから、漁獲量を予想する精度は3歳以上に比べると劣る。なお、新潟県と富山県の漁獲量は同調して変動し、近年、漁獲量が減少傾向にある。

以上の根拠から、富山県における3歳以上のブリ漁獲量は、 $993\text{トン} \times 55\% \times 26\% = 145\text{トン}$ (過去10年平均比109%)と算出され、平年をやや上回ると予想される。

2歳のブリ漁獲量は、過去10年平均が43トンであり、0歳時点での漁獲尾数が平年をかなり下回った(過去10年平均比45%)ことから、 $43\text{トン} \times 45\% = 19\text{トン}$ と算出され、平年をかなり下回ると予想される。

※かなり上(下)回る：+-51%以上 上(下)回る：+-50%～+-21%
やや上(下)回る：+-20%～+-6% 平年並み：+-5%以内

表 富山県における2歳、3歳以上のブリ漁獲量(10月～翌年3月)

漁期年	富山県における漁獲量(トン)	
	2歳	3歳以上
2013	14	160
2014	91	128
2015	9	17
2016	81	70
2017	58	50
2018	32	182
2019	16	155
2020	7	205
2021	60	81
2022	61	276
2023 (予想値)	19	145

2023/12/01

FRA-ROMS II

Temperature[°C] (100m)

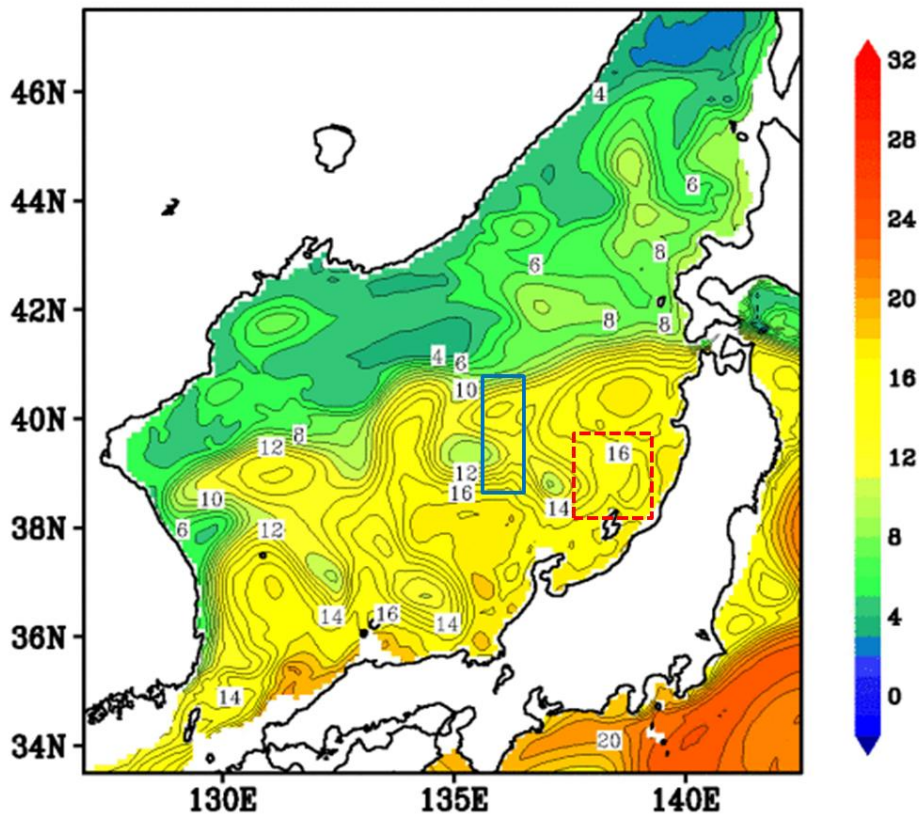


図 改良版我が国周辺の海況予測システム FRA-ROMS II の予測結果

2023年11月10日時点における12月1日100m深予想図

能登半島沖(青囲み海域)が冷たければ、富山湾来遊に好適な環境
山形沖(破線赤囲み海域)が暖かければ、富山湾来遊に好適な環境